

Hello! ボランティアセンターです!

ボランティアセンターの「福祉教育事業」を紹介します。



★福祉実践教室の紹介①【手話編】 <聴覚障害理解>

「病院で、自分の名前が呼ばれた」、「自宅にいて、インターホンが鳴った」、「火事が発生!隣の家が燃えている」。耳が聞こえる場合は、このような時も冷静に問題なく、対応することができますね。しかし・・・耳が聞こえない、もしくは聞こえにくい方の立場に立つとどうでしょう?

特に、火事は元々非常に危険な事態です。これに加えて、耳が聞こえなかったら・・・、ゾッと感じた方はいますか?

そんな時、「手話」は「ことば」となって、コミュニケーションの手段になります。ゆっくり話せば、「口の形」でも「ことば」は伝わることもあります。「身振り」を使った方が、適切に伝わる場合もあります。



みんな、一生懸命に両手を使って、「手話表現」を学んでいます。
身振りや、手振りも大切です。
頑張ってください!(*´ω`*)